

サキュバス誘惑編

セリーヌ「今日の獲物…あなたが選んだにしては…意外なチョイスねえ…面白みがなさそうなタイプじゃない…」

メアリ「はぁっ…そうかしら…精力もお…人並み以上なんだけどお…」

ルナ「それにしても…お姉ちゃんにしては…真面目くんタイプな感じだねえ～～…はぁっ…いつの間にい…趣味変わっちゃったの…」

セリーヌ「はぁっ…昔はぁ…もっとお…マッチョな感じの男を…搾り取ってえ…あっさり…ポイする感じだったのにい…ふう～～っ…」

メアリ「はぁっ…いいじゃない…獲物があ…どんな感じだって…ふう～っ…はぁっ…でも…この人お…絶対凄いからあ…見ててご覧なさい…」

ルナ「ふう～～っ…ともかくう…最近…欲求不満が溜まってきてるからあ…ふう～～っ…この人の精力はぁ…ボクがあ…頂いちゃうねえ…んぱぁっ…れろお～～っ…ふう～～っ…」

セリーヌ「れろお～～っ…では…私もお…いただきますわあ…ふう～～っ…あなたは…おとなしく…私達サキユバスにい…搾り取られててねえ…」

メアリ「はあ～～っ…これは…私が選んだ獲物なんだからあ…はあっ…足を引っ張らないでよねえ…ふう～～っ…はあ～～っ…ふう～～っ」

ルナ「ふう～～っ…なんだかあ…おねえちゃんに…気に入られてるみたいだよお…はあっ…ふう～～っ…それにい…思ったよりい…美味しそうなあ…精気を…持ってるねえ…んはあっ…ふう～～っ…はあ～～っ…」

セリーヌ「ふうっ…いやらしい精気ねえ…ふう～～っ…これならあ…たくさんエナジーを…貰えそう…ふう～～っ…はあ～～っ…なんだかあ…よだれが出ちゃうわあ…はあっ…れろお～～っ…ふう～～っ」

メアリ「ふう～～っ…はあ～～っ…あなたは…最初に見つけたあ…私のもの…はあっ…たっぷりと…搾り取ってあげるから…はあ～～っ…ふう～～っ」

ルナ「んはあ～～っ…サキユバスにはあ…キミのいやらしい精力はあ…ごちそうなの…ふう～～っ…はあ～～っ…れろお～～っ」

セリーヌ「はあっ…悪魔に…とりつかれたといってもお…はあっ…ふうっ…悪い話じゃないのよお…はあっ…だって…あなたはずっと…いやらしい夢の中でえ…はあ～～っ…ずうっと…サキユバスの…奴隷になるだけえ…ふう～～っ…れろお～～っ」

メアリ「はぁっ…もちろん…使い物にならなかつたら…はぁ～～っ…ポイされるけどねえ…ふう～～っ…でも…きつと…大丈夫…はぁっ…ふう～～っ…私がずっと…あなたを…飼育してあげるから…ふう～～っ…れろお～～っ」

ルナ「はぁっ…ふう～～っ…なんかぁ…お姉ちゃん…重いよ…れろお～～っ…はぁっ…ふう～～っ…はぁっ…ボクとしてはぁ…楽しく…行きたいんだけどぉ～～れろお～～っ…んはぁ～～っ」

セリーヌ「はぁんっ…ふう～～っ…サキュバスにい…ここまで思われるなんて…ふう～～っ…はぁっ…うらやましいわ…ふう～～っ…ほらぁ…自我の境目がぁ…なくなってきたみたい…んはぁ～～っ…レ□レ□お～～っ…ふう～～っ…」

メアリ「あははっ…いい感じね…心も体も…はぁっ…私に…ちょうだい…はぁ～～っ…れろお～～っ…一緒に…快樂の海に…はぁ～～っ…溺れてみましょ…ふう～～っ…はぁ～～っ…」

ルナ「はぁっ…んん～～っ…来てるよぉ…はぁ～～っ…美味し～～いのがぁ…んはぁっ…溢れてきたぁ…はぁっ…ボクラ…ト□～～ンって…しちゃうのぉ…はぁっ…ふう～～っ…はぁ～～んっ」

セリーヌ「はぁっ…ふうっ～～っ…あなた…未熟なサキュバスにはぁ…ちよつとお…刺激が強すぎる位かもぉ…？はぁ～～っ…ふう～～っ…それなら…私が…もうちよつとお…あなたの熱いの…いただいておかないとねえ…れろお～～っ…ふう～～っ…」

メアリ「あなたのチンポ…やっぱり…見た目に似合わず…おっきいのねえ…はあっ…はあ～～っ…はあ～～っ…この…サキュバスを…貫いちゃうようなあ…たくましいチンポお…ふう～～っ」

ルナ「はあっ…ボク…こんなおっきなチンポお…はあっ…初めて見たよお…ふうっ～～っ…はあ～～っ…ボク…こわれちゃうかもねえ…れろお～～っ」

セリーヌ「はあんっ…たくましさなあ…チンポからあ…はあ～～っ…ふう～～っ…ザーメン…たっぷり搾り取っちゃうからあ…はあっ…れろお～～っ」

メアリ「はあ～～んっ……私の魅力で…洗脳しちゃうからあ…はあっ…ほらあ…私の目を見てえ…はあ～～っ…ふうっ…あなたのチンポがあ…サキュバスがあ…オマンコ…犯したくなってるのお…はあっ…ふう～～っ」

ルナ「はあっ…ほらほらあ…ボクが…君の体を…くまなく舐めちゃったらあ…れろお～～っ…そのチンポ…もっと…おっきくなっちゃうのかなあ…」

セリーヌ「ふう～～っ…あなたのお…耳の中までえ…全部…サキュバスのもの…はあっ…れろお～～っ…どこでも…舐めちゃうからあ…」

メアリ「はあっ…れろお～～っ…じゃあ…やっぱりい…んはあ～～っ…チンポは…私がするねえ…ふう～～っ…はあっ…れろれろおっ…チンポを舐められるのとお…はあっ…チンポをしごかれるの…どっちがいい…？はあっ…ふうっ…んはあ～～っ」

ルナ「はぁっ…おねえちゃんってば…はぁっ…チンポを舐めて…んはぁっ…いやらしい…唇だねえ…はぁ～んっ…ぼくのオマンコもお…オチンポ…欲しくなっちゃうよお…んはぁ～～っ…ふう～～っ」

セリーヌ「はぁっ…れろお～～っ…サキュバスを…ここまで…乱れさせるなんてえ…んはぁ～～っ…ふう～～っ…れろお～～っ…はぁっ…体があ…溶けちゃうのお～～っ…んはぁ～～っ…はぁ～～っ」

メアリ「はぁ～～っ…だってえ…私が心に…決めた相手なんだからあ…ふう～～っ…れろおっ…このチンポ…はぁっ…最高なお…はあんっ…れろれろお～～っ…んはぁっ…サキュバスのフェラって…はぁ～～っ…チンポが…溶けちゃいそうでしょお…」

ルナ「はぁ～～っ…キミとしてたらあ…はぁっ…ボクって…ほんとにい…サキュバスなんだって…実感するよお…んはぁ～～っ…れろれろお～～っ…んん～～っ…んぱぁっ…はぁ～～っ…」

セリーヌ「ふう～～っ…れろお～～っ…チンポの代わりにい…指先までえ…なめちゃうからあ～～…れろお～～っ…はぁっ…んん～～っ…あなたのお…エロいエキスが…詰まっててえ…おいしいわ…はあんっ…レロレロ～～お…んぱぁっ…んはぁ～～っ」

メアリ「はぁっ…れろお～～っ…チンポお…しゅきい～～っ…んん～～っ…はぁっ…もう…このままあ…口の中でえ…チンポが…とろけちゃいそう…はぁっ…んんんっ～～っ…はぁっ～～っ…ふう～～っ…んん～～っ…ぷはぁっ…れろお～～っ」

ルナ「んん～～っ…ふう～～っ…もっと激しく…興奮してよお…んはあっ…ふう～～っ…れろお～～っ…んん～～っ…ふう～～っ…キミの…ホントの本気を…ぼくに見せてえ…んはあ～～っ」

セリーヌ「はあっ…ふう～～っ…サキュバスのお…オマンコもお…お尻の穴もお…あなたの好きに…んはあっ…できるのよお…んはあっ…んはあっ…」

メアリ「もちろん…わたしよねえ…はあっ…れろお～～っ…だつてえ…ほらあ…はあ～～っ…私のベロとお…この指でえ…はあ～～っ…思うがままにい……はあ～～っ…高ぶってくれてるんだからあ…」

ルナ「ふうっ…れろお～～っ…んはあっ…例えば…はあっ…お尻の穴とかあ…ふう～～っ…れろお～～っ…こんなトコ…サキュバスにい…舐められたらあ…はあっ…おかしくなっちゃうよねえ～～ふう～」

セリーヌ「息も吹きかけるなんてえ……んん～～っんはあっ…ふう～～っ」

メアリ「んはあっ…れろお～～っ…サキュバスならあ…それくらい当然よねえ…ふう～～っ…んはあっ…そんな程度でえ…私のお…はあっ…愛情たっぷりフェラにい…かなうのかしらあ…れろお～～っ…」

ルナ「んはあっ…ボクだつてえ…頑張っちゃうよお…れろお～～っ…んはあっ…んふう～～っ…れろお～～っ…お尻のお…奥の奥までえ…んん～～～～っ…んはあっ…れろお～～っ…んはあ～～っ…ほらねえ…ビクンビクン反応してるよお…んはあっ…」

セリーヌ「んはあっ…次はあ…私の番ねえ…はあっ…
じゃあ…はあっ…あなたの唇…奪わせてもらうのお…
はあっ…んん〜〜っ…んちゅう…れろお…んん〜〜っ
…れろれろお〜〜っ…んはあっ…サキュバスの…はあ
っスペシャルなあ…ベロキスう…んんっ…れろお〜〜
っ」

メアリ「ちよっとお…キスするなんてえ…はあ〜〜っ
…私が…先のつもりだったのに…はあ〜〜っ…んふう
〜〜っ…後でえ…絶対、私もお…死ぬほど…させても
らうけどねえ…れろれろお〜〜っ…んはあ〜〜っ…ま
ずはあ…チンポから…イカせてあげるんだからあ…ん
はあ〜〜っ…れろおっ〜〜」

ルナ「はあっ…よだれが…ダラダラでてるう…いやら
しいキス…はあっ…ふう〜〜っ…れろおっ…んんっ…
はあ〜〜っ…んぱあっ…れろお〜〜っ…ふう〜〜っ」

セリーヌ「んはあ〜〜っ…れろお〜〜っ…んはあっ…
こんな扇情的なあ…キスを見せられたら…んん〜〜っ
…はあっ…サキュバスでもお…嫉妬しちゃうのかしら
あ…んぱあっ…レロレロおっ…んんっ…んはあっ…ん
ん〜〜っ…んはあっ…れろお〜〜っ…んはあっ」

メアリ「はあ〜〜っ…んん〜〜っ…嫉妬なんてえ…ん
はあっ…するわけないけどお…んはあっ…キスよりも
お…ふう〜〜っ…凄いことお…してあげるう……んは
あ〜〜っ…ふう〜〜っ…サキュバスとお…セックスう
…んはあっ…はあっ…私を…チンポでえ…貫いてえ…
はあ〜〜っ…んふう〜〜っ…」

ルナ「あ〜〜んっ…やっぱいい…エッチ…しちゃうん
だねえ…はあ〜〜っ…キミい…サキュバスとお…エッ

チする意味…はあ～～っ…わかってるう～～？んふう～～っ」

セリーヌ「はあっ…サキュバスとセックスしたらあ…はあ～～っ…もう…日常には…引き返せないから…はあっ…んはあ～～っ…あなたは…永久にい…サキュバスのものって…はあっ…確定したのお…んはあっ…はあっ…んん～～っ…れろお～～っ…はあ～～っ」

メアリ「んはあっ…この交わりでえ…はあっ…契約完了なの…んはあ～～っ…でもお…心配しないで…いいからねえ…私の魔力があ…尽きるまでえ…はあっ…あなたを…愛してあげる…んはあ～～っ…はあんっ…はあ～～っ…はあ～～んっ」

ルナ「れろお～～っ…はあ～～んっ…サキュバスでもお…人間を…愛することも…あるんだねえ…はあ～～んっ…れろれろお～～っ…ふう～～っ…」

セリーヌ「んはあっ…れろお～～っ…あなたもお…サキュバスを…愛してあげてえ…んはあっ…れろお～～っ…んはあ～～っ…ふう～～っ…今度は…あなたからの…キスう～～っ…んはあ～～っ」

メアリ「んはあっ…はあんっ…好き…好きなのお…んはあっ…んはあっ…ふう～～っ…セックスしながら…あなたとキス…んはあ～～っ…れろお～～っ…んはあっ…はあっ…私のほうが…おかしくなりそう…んはあっ…れろお～～っ…レ□レ□お～～っ」

ルナ「はあっ…んはあっ…近くにいるだけで…はあ～～っ…ボクもお…おかしくなっちゃうよお…んはあっ…れろお～～っ…んはあっ…」

セリーヌ「ふう～～っ…サキュバスの中にい…一滴残らず…精液い…出しても…いいのよお…はあ～～っ…すぐにい…回復してあげるからあ…んはあ～～っ…ふう～～っ…何度イッたってえ…私達の声でえ…また…勃起しちゃうでしょお…レロレロ～～っ…ふう～～っ…れろお～～っ」

メアリ「はあ～～っ…れろれろお～～っ…あなたが…はあっ…愛してくれる限りい…んはあっ…何百回でもお…はあ～～っ…何千回でもお…受け入れてあげるからあ…んはあ～～っ…んはあ～～っ…んふう～～っ…んはあっ…子宮のお…奥の奥でえ…あなたと…繋がってるのお…んはあ～～っ」

ルナ「んはっ～～っ…だからあ…もっとお…サキュバスとお…激しく交わってもお…いいんだよお…んはあ～～っ…れろお～～っ…サキュバスを…キミものにしてみせてえ…んはあっ…れろお～～っ」

セリーヌ「んん～～っ…はあっ…あなたがあ…サキュバスを…愛する限りい…んはあっ…永遠に…快樂の世界にい…居させてあげるからあ～～んはあっ…はあ～～っ…はあっ…れろお～～っ…はあ～～っ」

メアリ「んんっ…んはあっ…もうダメなのお…魔族なのにい…オマンコ…貫かれてえ…んはあっ…人間にい…支配されちゃう…支配されたいってえ…はあっ…思

っちゃうのお～～んっ…んはぁ～～っ…んはぁ～～っ…
…れろお～～っ」

ルナ「はぁっ…すごお～～いつ…何度も…サキュバス
を…はぁっ…イカせてるう…んはぁっ…このままぁ…
お姉ちゃんを…んはぁ～～っ…チンポでえ…魅了して
あげてえ…はぁ～～っ…れろれろお～～っ」

セリーヌ「んはぁっ…れろお～～っ…ふう～～っ…サ
キュバスがこんなにい…んはぁっ…チンポでえ…イカ
されまくるなんてえ…んはぁ～～っ…れろお～～っ…
私も早くう…オマンコ…犯してほしいのお…んはぁ～
～っ…れろお～～っ」

メアリ「んはぁっ…はぁっ…絶対にい…私だけのもの
お…んはぁっ…チンポチンポお…んはぁっ…どうぞお
…サキュバスの…マンコはぁ…あなたのお…肉便器い
…んはぁっ…れろれろお～～っ…もっとお…マンコに
い…すごいチンポお…入れてみせてえ…んはぁ～～っ
…はぁっ…れろれろお～～っ…」

ルナ「はぁっ…はぁっ…レロお～～っ…早くう…ボク
のマンコもお…チンポまみれがあ…いいよお…んはぁ
っ…れろお～～っ…んはぁっ…チンポチンポチンポお
～～っ…んはぁっ…それにい…お口にもお…してねえ
～～っ…んはぁ～～っ…れろお～～っ」

セリーヌ「はぁっ…れろお～～っ…こんなことお…信
じられないけどお…はぁっ…んはぁっ…れろお～～っ
…もうあなたにい…魅了されてますのお…んはぁ～～

っ…れろお～～っ…はあ～～っ…お好きなだけえ…お
口もお…オマンコもお…もちろん…お尻にもお…はあ
～～んっ……んはあっ…んふう～～っ」

メアリ「はあ～～っ…んはあっ…はあっ…チンポから
あ…濃い…欲しいのお…んはあっ…エロサキュバス
があ…はあ～～っ…精液欲しくてえ…たまらないのお
…んはあ…はあっ…熱い…んはあっ…子宮の奥にい
…んはあ～～っ…んはあ～～っ…」

ルナ「はあっ……せーえきい…出して…んはあ～～っ
…れろお～～っ…ボクの…お尻の穴でもお…いいんだ
よお…んはあ～～っ…ぷふう～～っ…キミのエネルギー
…壊れるくらいにい…注入してえ～～んっ」

セリーヌ「はあっ…お願いしますう…チンポからあ…
ザーメンだしてえ…んはあ～～っ…見てるだけでえ…
妊娠しちゃうそうなあ…あなたのセックスう…んはあ
っ…」

メアリ「はあっ…はあ～～っ…チンポからあ…出ちゃ
いそうなのお…？はあっ…んはあ～～っ…チンポとお
…オマンコ…溶けちゃうからあ…んはあっ…れろお～
～っ…はあっ…はあ～～っ…」

ルナ「もっとお…ザーメンでえ…チンポとオマンコお
…グチヨグチヨ…れろお～～っ…んぱあ～～っ…んふ
う～～っ…レロレロお～～っ…チンポ…はあ～～っ…
大好きだよお…んふう～～っ」

セリーヌ「はあっ…人間のチンポがあ…んはあっ…サ
キュバスを…貫いてえ…んはあっ…れろお～～っ…精
液があ…体を侵食してるのお…はあ～～っ」

メアリ「んはあっ…チンポからあ…サキュバスの子宮の中にい…ザーメン出たのお…んはあっ…れろお～～っ…はあっ…んはあ～～っ…はあっ…私はあ…全部…あなたのもの…ふう～～っ…んはあ～～っ」

セリーヌ「はあっ…はあ～～っ…ほんとにいい…凄いお方でしたの…んはあ～～っ…もう…私達はあ…あなたにいい…お使えますのお…ふう～～っ」

ルナ「はあっ…はあっ…次はあ…ボクの番なんだねえ…はあ～～っ…んはあっ…ほらあ…まだまだあ…こんなにチンポがあ…硬いままだしい…舐めてあげるねえ…んはあ～～っ…れろお～～っ…んはあっ」

セリーヌ「はあ～～っ…私もあ…おしゃぶりしますからあ…チンポで好きなだけえ…犯してくださいませえ…んはあっ…れろお～～っ」

メアリ「れろお～～っ…はあっ…はあっ…ふう～～っ…もう何度でもあ…私を犯してえ…んはあ～～っ」

ルナ「もっとあ…舐めるのお～～んぱあ～～っ…レ口お～っ…んはあ～～っ」